

中小企業景況調査結果(平成29年10～12月期)

中小企業の業況は、持ち直しの動きが見られる。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成29年10～12月期実績と平成30年1～3月期見通しについての調査結果(回答数86社、回答率86%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲26%から▲18%に上昇した。業種別にみると、製造業が▲42%から▲18%と大幅に上昇し、来期も9%と引き続き大幅に上昇の見通しである。建設業は0%から20%に大幅に上昇しており、来期も31%と引き続き改善の見込みである。小売業は▲30%から▲26%と改善しており、来期は▲27%でほぼ横ばいの見込みである。サービス業は、▲27%から▲28%とほぼ横ばいであり、来期は▲34%と低下の見通しである。

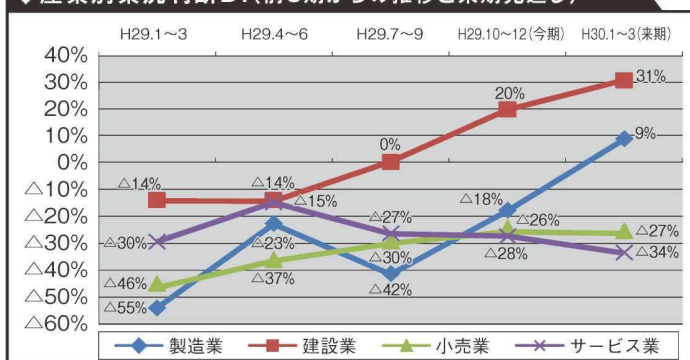
今回調査では、前回調査で低下傾向にあった仕入単価の上昇傾向と、前回上昇傾向であった従業員数の低下傾向が見られた。製造業、建設業では、業況判断、売上、経常利益に大幅な上昇傾向が見られた。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の15%、来期設備投資を実施予定の企業は11%であった。経営上の問題点については、各業種に共通して需要の停滞が挙げられている他、消費者・利用者のニーズの変化への対応が上位に挙げられている。

◆業況DI値(今期の状況)

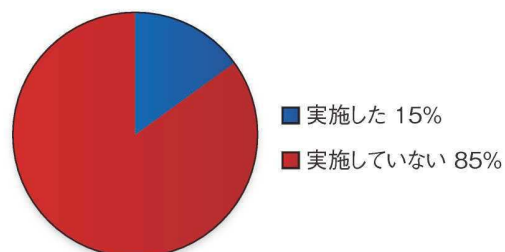
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	▲18%	▲	▲19%	▲	▲14%	▲	29%	▲	▲33%	▲	▲10%	▲
製造業	▲18%	▲	0%	▲	▲15%	▲	46%	▲	▲31%	▲	▲25%	▲
建設業	20%	▲	20%	▲	▲7%	▲	47%	▲	▲14%	▲	▲7%	▲
小売業	▲26%	▲	▲26%	▲	▲22%	▲	15%	▲	▲50%	▲	0%	▲
サービス業	▲28%	▲	▲37%	▲	▲7%	▲	21%	→	▲24%	▲	▲14%	▲

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

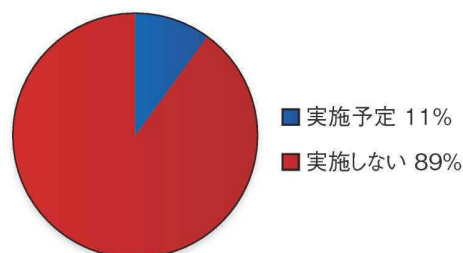


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

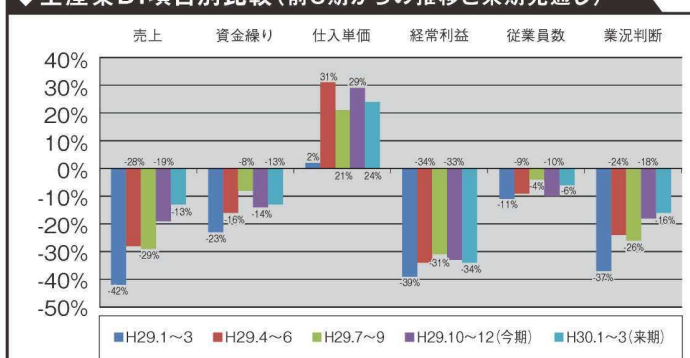
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 31.0%	熟練技術者の確保難 21.6%	購買力の他地域への流出 19.7%	利用者ニーズの変化への対応 13.5%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難 17.2%	従業員の確保難 13.5%	消費者ニーズの変化への対応 16.7%	店舗施設の狭隘・老朽化 12.2%
3位	製品ニーズの変化への対応 13.8%	官公需要の停滞 13.5%	需要の停滞 16.7%	需要の停滞 12.2%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。